



平成 29 年 10 月 27 日

岩手県内リハ関連病院及び施設等の院長、施設長 様

岩手災害リハビリテーション推進協議会 会長 大井清文
(いわてリハビリテーションセンター センター長)



平成 29 年度災害時ロジスティクス実践研修会受講者の推薦について (依頼)

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災を機に、本県においても、岩手災害リハビリテーション推進協議会 (いわて JRAT) を立ち上げ、岩手県、岩手県医師会及び岩手医科大学のご理解をいただきながら、県単位でのリハビリテーションコーディネーターの養成と支援チームの組織化に向けて一層の取組みを進めているところであり、先の熊本地震や平成 28 年台風第 10 号災害では被災地支援活動を展開したところです。

こうした取組みの一環として、平成 26 年度から 28 年度において開催した、「災害リハビリテーションコーディネーター養成研修会」に引き続き、今年度は災害時のロジスティクス機能を担う人材の育成を目的とした研修会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、業務多忙の折とは存じますが、岩手県における災害リハビリテーション支援体制の構築のために、趣旨をご理解のうえ、貴病院、施設より受講者のご推薦を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 日時： 平成 29 年 12 月 17 日 (日) 9:00~16:00

※受講者には修了証書を交付します。

※26 年度~28 年度に開催した「災害リハビリテーションコーディネーター養成研修会」を受講した方を優先してご推薦いただきたいと思います。初めでの参加でも構いません。

2. 会場：岩手リハビリテーション学院 3 階 5 番教室

(岩手県盛岡市長田町 15-16)

※近隣の民間駐車場を利用するか、公共交通機関をご利用ください。

3. 受講者の職種：医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員、事務職

4. 受講料及び定員：無料、64 名 (原則、先着順となります。)

5. 推薦報告：12 月 6 日 (水) までに別紙申込用紙にて F A X 送信願います。

6. 交通費の支給：受講者の旅程に応じた規定の旅費交通費を支給します。

*受領印押印のための印鑑を必ずご持参ください。

※この事業は (公財) いきいき岩手支援財団の助成を受けて実施するものです。

担当：五日市治 (業務推進部長、いわて JRAT 支援事務局)
公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター
〒020-0503 岩手郡雫石町セツ森 16-243
電話：019-692-5800 F A X:019-692-5807

いわてJ R A T災害時ロジスティクス実践研修会
プログラム（案）

場所：岩手リハビリテーション学院 3階 5番教室
主催：岩手災害リハビリテーション推進協議会

【12月17日（日）】

日時・時間	講師及び講演内容
9:00～9:05	開会のあいさつ 岩手災害リハビリテーション推進協議会 会長 大井清文 (いわてリハビリテーションセンター センター長)
9:05～9:10	来賓あいさつ 岩手県保健福祉部長 八重樫 幸治
9:10～9:50	講 師 三宮 克彦 熊本県理学療法士協会理事 熊本機能病院リハビリテーション課長 講演内容 熊本地震における本部運営の実際
9:50～10:00	休憩
10:00～12:45	講 師 佐藤 亮 熊本県理学療法士協会理事 講演内容 グループワーク (REHUG)
12:45～13:45	昼食
13:45～15:45	講 師 佐藤 英雄 いわてリハビリテーションセンター理学療法科長 大久保 訓 いわてリハビリテーションセンター作業療法科副科長 関 公輔 いわてリハビリテーションセンター主任理学療法士 渡部 祐介 いわてリハビリテーションセンター主任作業療法士 講演内容 ①災害派遣医療チームにおけるロジスティクスについて(仮) ②情報処理実習(仮)
15:45～16:00	修了証の授与 閉会

※REHUG とは

熊本県理学療法士協会が開発した、災害時の本部運営を疑似体験する実践的なシュミレーションゲームのこと。

リハビリテーション (Rehabilitation) 本部 (Honbu) 運営 (Unei) ゲーム (Game) の略であり、英語の Re「再び、何度も」、HUG「抱きしめる」という意味から、避難所や仮設住宅の要配慮者を何度でも支援するというイメージで名付けている。災害時の本部運営に携われる人材を育成することは、次の災害に備えて非常に重要であり、活動本部長、調整本部長、ロジスティクスなど、それぞれの役割の中で、支援チームの受け入れ、派遣、福祉用具の貸与、記録等に対応するといった基本的な本部活動の運営を理解することはもちろん、時間経過とともに刻々と変化する状況に臨機応変に対応する能力も学ぶことができる。

(いわてリハビリテーションセンター 五日市 治 あて)

FAX 送信先：いわてリハビリテーションセンター

FAX：019-692-5807

(報告期限：12月6日(水))

災害時ロジスティクス実践研修会 参加申込書

病院・施設名： _____

受講者

氏名	職種・職名	出発地最寄り駅名 (自宅最寄駅)	自家用車利用
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

連絡代表者： _____

連絡先： TEL： _____

FAX： _____